



2005年11月1日

号外 11月号

(江東区版)

プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

お問い合わせは

川北直人 白河事務所

〒135-0021 江東区議会新生クラブ

江東区白河3-9-12 田辺ビル102号

TEL. 03-5639-0170

FAX. 03-5639-1050

Email:7010@naoto-k.com

http://naoto-k.com



かわきた なおと

川北 直人

民主党 江東区議会議員

～さわやかな新しい力を江東区へ～

区政レポート (vol. 11 平成17年第3回定例会)

略歴

★元衆議院議員 あずま祥三 元秘書

★2003年4月 区議会選挙 初当選  
(3,392票 第1位)

★民主党東京都第15区総支部副幹事長

議会

●新生クラブ 政策調査会 会長

●厚生委員会 委員

●防災・まちづくり対策特別委員会 委員

●防災会議 委員

皆様、こんにちは。  
7月の東京都議会選挙の熱気が冷め止まぬ間に行われた第44回衆議院議員総選挙では、8万人に近い方々より民主党公認候補 あずま祥三に「ご支援を賜りました。先の衆議院選挙以来、捲土重来を期しての戦いでありましたが、結果は再び惜敗。今の政治に満足されずに、根本から立て直さなければならぬと思われ、「一本筋の通った政治」を志す同候補者に対して、ご支援を賜りました多くの方々に、心よりお詫びと御礼を申し上げます。

私達はまず、この度の選挙結果に表された「民意」を真摯に受け止めなければなりません。「郵政民営化、可か否か」だけが問われたこの度の選挙の意義そのものに疑問は拭いきれないものの、民主主義において何より尊重されなければならないものが、選挙結果「民意」であるからです。

いくら政治家が理想を述べ、問題点と解決策を訴えたとしても、有権者の方々がそれを望まない限り、選挙の結果として表れない限り、理想の空論に過ぎないということを感じさせられた結果でもありました。

では、選挙で大敗した私達に何が出来るのでしょうか？選挙後のマスコミ報道を見聞すると、「民主党の危機」「党の建て直し」といった言葉が並びます。本当に危機であり、建て直しが必要なのは「民主党」ではなく「日本の政治」であり、伝統・文化を継承しづらくなった「日本の社会」そのものではないでしょうか？

選挙結果によって、この国の危機的状況が変化し、山積された種々の問題に解決への道しるべが示されたのであれば、私達が議席を減らし政党存続の危機にさらされたとしても国民生活にとっては何ら問題のない事であり、殊更取り上げるべき話題ではないと、私は思います。

「選挙結果」民意への挑戦

～凛とした自立国家へ～

ただ、問題は、現政権下による政治が本来に将来への不安要素を取り除き、国民生活を安定ならしめているのか、どうなのか？例えば税制・社会保障・治安・高齢化社会への対応等々。政治の究極的課題である国民の生命・財産の保護と国家の安全・繁栄を期待することの出来る政治であるのか、どうなのか？その一点が問題視され、議論されずに、刺客騒動と物珍しい当選者のその後を追跡するだけのワイドショー的報道も足かせとなって、日本の本当の危機から有権者の方々の意識が遠退いてしまっているのではないかと、思う点です。

だからこそ、私達が存在する意義があるのだと思います。選挙によって表れた民意が、正しい方向に進んでいないと思うからこそ、私達は挑戦し続けます。理想を高々と掲げ、信念を曲げずに、ひたすらにお訴えを続けます。何故か？政治とは、『理想と現実の擦り合わせ作業』に他ならないと政治の師より教わりました。現実に対応していない事柄に関しては大胆に方向転換させる必要があります。変化に即していく状況判断と、不断の決意が政治家には必要不可欠な要素であるからです。

総選挙で小泉総理が掲げた「小さな政府」とは一体何を意味するのか？政治家も役人も責任を執らない体質のまま、ただ効率性だけを求めるものなのか、ただ財政だけを健全化させることなのか、それとも、かつての日本のように凛とした自立国家を取り戻す為に、官民の責任の所在を明確にしていくなか、私の答えは、間違いなく後者であり、その大きな理想の下に現実即した政治へのシフトチェンジが求められていると確信致しております。

もたれ合い、談合的、総無責任体質の日本から脱却していく、それは有権者の方々と政治家との間にも言える事だと思いません。皆様の「ご意見」をお待ち申し上げます。

今定例会(会期9月27日～10月24日)に於きまして、区政一般質問の壇上に立ちました。

質問の要点は3点。以下、区の答弁・今後の展望を含め、簡潔にご報告申し上げます。

一点目は、**国際支援事業の継続性とその意義を学校教育へ普及させるよう求めたもの**です。

本区が不用になった小中学校の机、イスをカンボジアの小学校へ寄付された事業について、その継続性と、単に恵まれない子ども達への物資援助事業に留めずに、先進国と後進国との間にある国力の差について、それが歩んだ国の歴史、リーダーの存在、国民性、ありとあらゆる要素の上に、私達が生活を営んでいると言う事を現代の子ども達に伝えていくと共に、その中で富める国だからこそ、周囲に対して目配りが出来る、そういう気概を持った子ども達を育てていくこととする事も、公共心を失い欠けた日本において重要な教育方針の一つである、と訴えました。

行政からは、事業の継続性と今回の支援事業を総括し、資料を教材として各小中学校で使用する旨の答弁がありました。

二点目は、相次ぐ談合事件、官製談合事件の発覚を受け、**公契約方法の抜本的改革に取り組む区の意欲**について問い質しました。

前回一般質問でも取り上げた通り、公平・公正な社会を実現していく上で、まずメスを入れなければならぬのが、政官・業の癒着構造を可能にしている現在の指名制を中心とした入札制度です。不良・不適格業者の排除、事業の品質確保を大儀とした現制度は、「役所の責任を棚上げ」した制度に過ぎないと、従来より指摘して参りました。納税者に代わって公共事業を全うする責任が役所にあるのであれば、不良・不適格業者と契約を交わさずに、事業の品質をチェック・確

保する事も役所の責任の範疇であり、それを理由として入札参加への規制をかけた事から護送船団化し、安全神話を作り上げたあげくに「溜まった膿」が吹き出した。それが一連の報道に見られる談合事件の本質であると思えます。これらの事件が明らかとなるたびに、対症療法的な取り組みは見られても、本質的に何も変わりません。覚悟がないのか、そもそも変える気がないのか、変化に対応していないことだけは事実であり、今回も大きな展開は見られません。

三点目は、**災害時要援護者への被災想定**の不十分さを指摘し、**情報伝達体制の早期確立、個人情報保護制度を加味した災害時要援護者台帳の早期作成、障害者団体や手話活動団体との災害時協力協定締結の実現**などを求めました。

災害発生時に極めて重要な役割を果たすのは、共助(地域の助け合い)です。その為に、災害協力隊や消防団のように、地域毎に地元精通した防災組織が結成され、災害発生に備えをしております。その一方で、公助(公的救助)の仕組み作りには、更に広範囲に渉る視野と、より緻密な被災想定がなされていなければなりません。しかし、現在の江東区防災計画は、健常者を対象にした限られた計画であり、机上の時点で要援護者の存在が想定外であれば、災害発生時に救援活動が機能するはずがない事は、誰の目にも明らかではないでしょうか?近年では阪神淡路、宮城県沖、中越など、大震災の度にこれらが問題視されているにも関わらず、依然として抜本的な見直しをしないのであれば、無策にも程があると言わざるを得ません。

直ちに改めるよう質したのに対し、情報伝達体制、災害協力協定については前向きな答弁であったものの、要援護者台帳については、やはり個人情報保護法の壁に、閉ざされてしまいました。国民の生命・財産を守る事に足かせとなる同法の問題点を精査し、改正する必要がある事を痛感致しました。

### 後援会活動のご案内

#### 後援会主催『区政報告会／忘年親睦会』のご案内

今年も早いもので、残り2ヶ月となりました。先の区議会選挙で初当選をさせて頂いて以来、毎年恒例となりました「区政報告会／忘年親睦会」を開催させて頂く事となりました。

一年を振り返り、区政活動報告と次年度に向けての抱負などについて、皆様と共に語り合えればと存じます。

日時:平成17年12月12日(月) PM6:30開場  
PM7:00開会

場所:江東区森下文化センター4階 レクホールにて  
どなたでもご自由にご参加頂けます。詳細のお問い合わせにつきましては下記白河事務所またはHPをご覧ください。

### ～カンボジア視察～

7月30日より7日間、カンボジアを訪れました。

江東区では本年、不用になった机・イス等を生徒・児童さんが修復し、海外支援事業を行うNPO,NGOとの連携でカンボジアの子ども達へプレゼントしました。その後の事後調査と海外支援事業そのものの意義を日本の子ども達へ伝えるため、そして、先進国と後進国との差についてそれぞれの国が歩んできた歴史、当時のリーダー達の行動、ありとあらゆる要素の上に現代の私達の生活が成り立っている、ということを深く理解するために、現地を訪れました。詳細をHP及び号外特集号にて後日お知らせ致します。

## 川北直人後援会連絡所

### 《白河連絡所》

〒135-0021 江東区白河3-9-12 田辺ビル102号  
TEL. 03(5639)0170  
Fax . 03(5639)1050

### 《扇橋連絡所》

〒135-0011 江東区扇橋2-21-1-3F  
TEL. 03(3699)7744  
Fax . 03(3699)7722

なおと

Email:7010@naoto-k.com

区政相談その他

Http://www.naoto-k.com

24時間受付中です。

## 川北直人後援会からのお願い

- 街頭でのビラ配り(ボランティア)
- ポスター掲示場所のご提供
- 後援会へのご入会

お一人でも多くの方々に参加して頂き、共に政治活動を行って行きたいと思っております。

お問い合わせは、川北直人事務所まで